

# かんきつ類の植え付け方法について

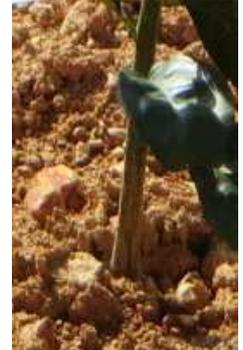
R 3年 11月 作成

南宇和地区営農指導連絡推進会議果樹部会

かんきつの植付けで、深植え（接木部よりも上まで土が覆われる）のケースがよく見られます（写真）。深植えは、台木の根ではなく、接ぎ木の品種（河内晩柑など）の根（自根）が出やすくなります。このような場合、樹高が高く、品質が低下し、結果量が少なくなりやすいなどの症状が出ます。接木部をしっかりと出して台木の根がしっかりと張れるように管理しましょう。



接木部



良い例

接木部が地表に出る

良くない例

接木部が地下に埋まる

## 1. 植穴準備

植穴は直径 1 m 程度、深さは 30 cm までとします。

一穴当たり、熔リン 500 g、苦土石灰 2 kg、堆肥 20 kg を入れてよく混和します。

## 2. 植え付け

植付け前に根を水に浸け、植え付けまで乾かさないように取り扱います。

台木との接木部分を土に埋めないように 浅植え とします。

根は、丁寧に広げて植え付けます。

植付け後はたっぷり灌水を行います。

1 年生苗は、接木部分から 40~50 cm 程度のところまで切り返します。

風で倒れないように支柱への誘引、スカーティングを実施しましょう。

